

学びのデザインシート（修正後）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象（実施を想定する学校・子供の実態の概要）

第4学年3組 男子13人 女子12人 計25人

子供の実態（○育成された資質・能力 ◆課題が見られる資質・能力）

○読み深めたいことは何かを、問いの形にしてはっきりさせる。

○読むときには、繰り返し用いられている言葉に着目することで、作者の思いに迫ることができる。

◆場面と場面を、結び付けたり、比べたりして、気持ちの変化をとらえる。

2. 単元（題材）名「気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう」（ごんぎつね）（全13時間）

3. 単元（題材）で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
思考力、判断力、表現力等	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基にとらえることができる。 登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にして、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

4. 本時の目標

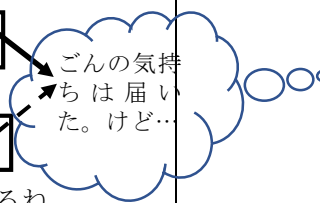
※「5」を単元（題材）で作成する場合は省略可能です。

5. 授業展開【本時・**単元（題材）**】 ※本時または単元（題材）いずれかに○を付けてください。

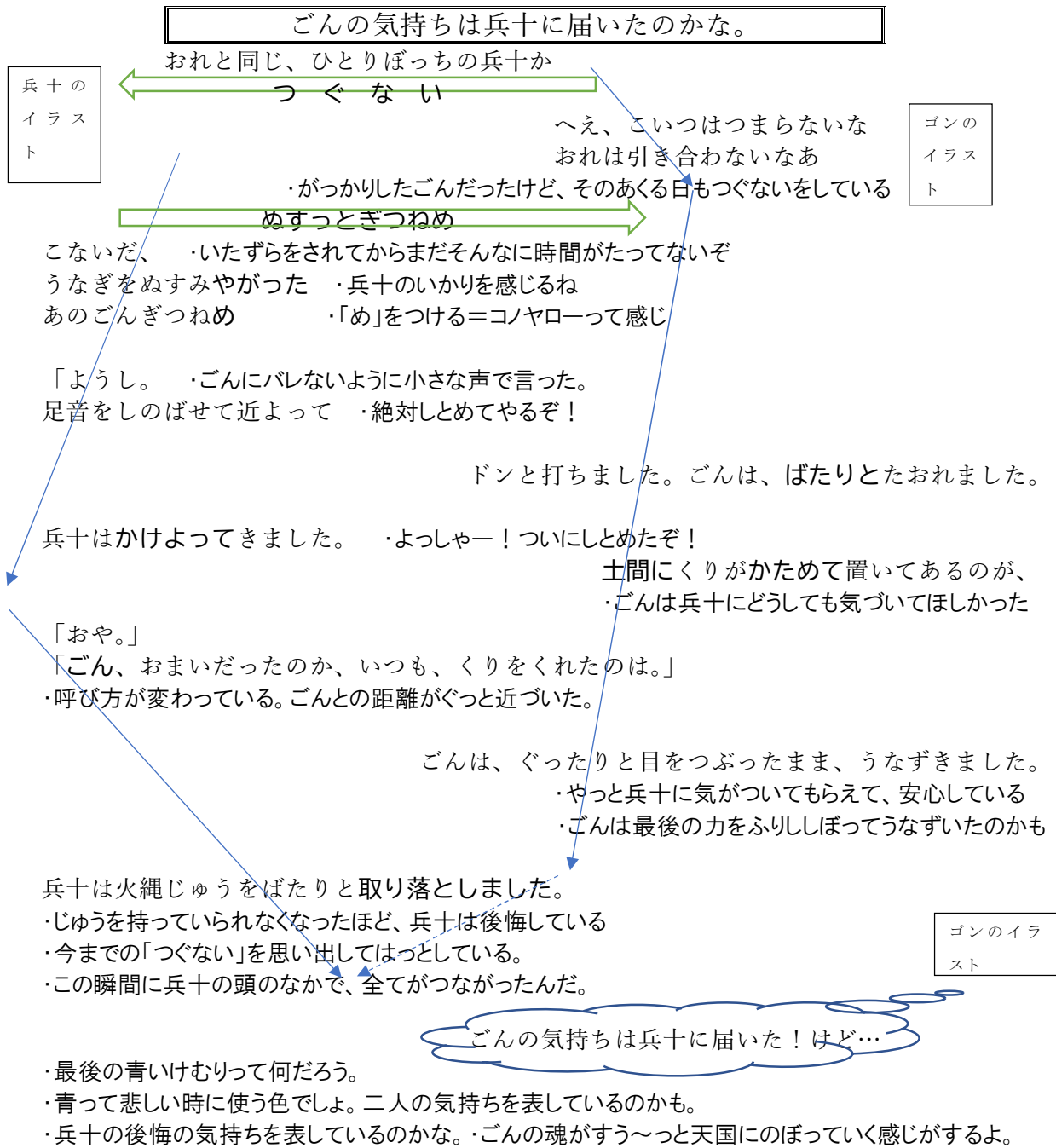
<b>解決したい課題や問い</b>
解決したい課題「ごんと兵十の行動や気持ちなどについての叙述をもとに、物語のあとばなしを書こう。」
解決したい問い「ごんの気持ちは兵十にとどいたのかな。」

**考えるための材料**

<p>※解決したい課題を考えるために必要な発問</p> <p>ごんはどうしていたずらばかりするのだろう。</p> <p>ごんはどうしてちょっと、いたずらがしたくなかったのかな。</p> <p>ごんは自分がやったいたずらをどう思っているのだろう。</p> <p>ごんはどうしてこれはしまったと思ったのだろう。</p> <p>ごんはどうして、お念仏がすむまでずっと待っていたのだろう。</p> <p>ごんは引き合わないのにどうしてまたくりを持って行ったのかな。</p> <p>ごんの気持ちは兵十に届いたのかな。</p> <p>以上の発問をもとに読み深まった考えを「物語のあとばなしを書く」という言語活動で表現する。</p>							
<p>想定される活動</p>							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">ごんに対する兵十の気持ち</td> <td style="width: 33%;">いたずらぎつねめ</td> <td style="width: 33%;">驚き</td> <td style="width: 33%;">後悔</td> </tr> </table> <p>ずっとごんのことを憎んでいた兵十の気持ちが、最後の最後にごんに近づいた。</p>	ごんに対する兵十の気持ち	いたずらぎつねめ	驚き	後悔			
ごんに対する兵十の気持ち	いたずらぎつねめ	驚き	後悔				
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">兵十に対するごんの気持ち</td> <td style="width: 33%;">後悔</td> <td style="width: 33%;">償い</td> <td style="width: 33%;">同情</td> <td style="width: 33%;">親しみ</td> <td style="width: 33%;">気づいて欲しい</td> <td style="width: 33%;">親愛</td> </tr> </table> <p>始めは兵十への償いの気持ちが強かったけど、気づいて欲しいという気持ちに変わっているね。</p>	兵十に対するごんの気持ち	後悔	償い	同情	親しみ	気づいて欲しい	親愛
兵十に対するごんの気持ち	後悔	償い	同情	親しみ	気づいて欲しい	親愛	



対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）



学習の成果（予想される子供のあらわれ）

解決したい問い

「ごんの気持ちは兵十にとどいたのか。」

最後の最後にごんの気持ちは兵十に届いたと思う。でも、せつかく気持ちが届いたのに、すぐに別れの時がやってきてしまった。兵十はごんをうってしまったことをひどく後悔していると思う。青いけむりは兵十の悲しみを表現しているのかな。

解決したい課題

「ごんと兵十の行動や気持ちなどについての叙述をもとに、物語のあとばなしを書こう。」

ごんと分かり合えた兵十は、ごんのためを思った行動をとると思う。ごんのお墓を立てたり、つぐないをしたりするのかな。もしかしたら、加助の家に飛び込んで、後悔の気持ちを伝えたのかもしれない。その兵十の思いを受け取った村人たちがこの物語を語り継いでいって、茂平おじいさんにまで伝わったのだと思う。